

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立松浦小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習意欲の向上に向けて、校内研究での算数科を中心に授業研究に取り組んできた。発問を工夫したり、伝え合い、聴き合う対話的な学び合い活動を取り入れたりしてきたが、児童の学習に対する意欲の向上がまだ不十分である。また、児童の学力向上につながる自学ノートの取組についても検討する必要がある。今後も引き続き、児童の学習意欲を高め、学力向上につながるような授業づくりや自学ノートのあり方について全職員で研修を深めていく。</li> <li>いじめアンケート以外に本校が定期的に行っている心のアンケートと教育相談週間については、友達関係などで悩んでいる児童の把握と問題解決に効果が上がっていると思われる。そのため、学校評価アンケートでは、保護者からも学校の対応に満足しているという意見が多くみられた。今後も継続して取り組んでいくことで児童が安心して通える学校を目指す。また、「ありがとうの木」や「かがやきの木」、各学級で行っている友達のよいところをほめあう時間については、内容を検討し、より子どもたちの心を耕す機会になるようにしていく。</li> </ul>
2 学校教育目標	よく学び、よく鍛え、心やさしい児童の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇互いに考えを出し合い、高め合おうとする子ども</li> <li>〇自他の人権を守る子ども</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を75%以上にする。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。							研究主任 研究副主任 指導方法改善担当
	○児童の学習意欲を高め、学力向上につながる授業づくりの実践	○県学習状況調査における県平均との差を向上させる。 ○児童アンケート「学習課題に対し、意欲をもって取り組むことができたか」の割合を75%以上にする。	・「授業づくりステップ1, 2, 3」を教職員間で共通理解し、授業改善及び指導の向上を図る。 ・主体的に取り組む児童を育成するために、学習スタイルを選択する活動を設定する。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○各学年1回以上、自他の人権を守る大切さを学ぶ授業を実施する。 ○児童アンケート「友だちの気持ちを想像して声をかけたり見守ったりすることができたか」の割合を75%以上にする。	・共通教材を用いた全学年での人権学習や人権教室を実施する。 ・夢の広場(人権教室)の年間計画を立案し、全職員で実施する。 ・年間を通して「ありがとうの木」「かがやきの木」を掲示し、感謝する心や思いやりの心等の意識付けを行う。							児童生徒支援教員 人権・同和教育担当 生活指導主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○児童全員との個別面談を実施する。 ○児童の様子や対応を共通理解するための職員全体での話し合いの場を定期的に設定する。	・「心のアンケート」を実施するとともに、担任が児童と個別面談を行う期間を年間に2回設定する。 ・毎週の職員連絡会で、気になる児童についての共通理解を図り、必要に応じてケース会議等を開く。							
	◎地域人材を生かした体験活動	○コミュニティセンターと協力し、地域人材を生かした学習を年に1回以上行う。 ○児童アンケート「体験活動で自分が将来やりたいこと結びつけて学習することができたか」の割合を75%以上にする。	・地域学習において、ゲストティーチャーを積極的に招く。							
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒60%以上。	・全学年共通して、体育の授業開始前に運動場2周または体育館5周のランニングを取り入れ、「体力がついたと思う」の児童が80%以上を目指す。							体育主任
	●「望ましい生活習慣の形成」	●自分なりのめあてを立てて、それを達成できた割合80%以上。	・早寝、早起き、朝ご飯の大切さを、保健だよりを通して呼びかける。手洗い指導やブラッシング指導を実施し、より良い生活習慣の確立を図る。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。	・毎週金曜日及び第3水曜日を定時退勤日とし、17時施錠を原則とする。 ・一人一人が自分の仕事のやり方を見直し、タイムマネジメントを行う。							教頭  教務主任
	○学校行事の精選、スリム化を図る。	○1つ以上の精選及び1つ以上のスリム化を行う。	・学校行事ごとに「カエル(変える・帰る)会議」を設定し、DCAPサイクルを回す。							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○職員アンケート「年度当初と比べ、特別支援教育に関する専門性が向上したと思う」の割合を75%以上にする。	・特別支援教育に関する研修会を実施 ・ケース会議の開催、情報共有							特別支援教育 コーディネーター

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育	
5 総合評価・次年度への展望	